



民俗芸能研究家

特定非営利活動法人邦楽指導者

ネットワーク21副代表理事

西角井正大

第十回講習会が7月7日とちょうど七夕でしたので、「七夕と箏」のお話を少しいたしましょう。まず「七夕」と書いて「たなばた」と読むのを不思議に思われませんか。「たはばた」は「棚機」という日本の古俗のことで、海や川の特別な聖なる水辺に床棚を張り出して、神にお着せする布を機織しながら来臨をお待ちするという祭祀様式に起源があります。織手は「棚機津女(たなばたつめ)」と呼ばれて古事記や日本書紀の神話に登場しています。神迎えは季節の行き交う時期で、神が交代するから季節が変わると考えていたようです。そこに古代中国の7月7日の「七夕祭」の知識と儀礼が入ってきて「七夕」の字が当てられるよ。七夕で和漢折衷文化なのです。古代中国の七夕は女性の手芸の上達を祈る「乞巧奠(きこうでん)」と、牽牛と織女の天の川を挟んでの恋物語の「二星」からなっています。恋ゆえに畑仕事と機織を怠ける二星に天帝が年に一度しか合わせないとお仕置きしたのですから、ロマンチック

クビころか悲しいお話です。この乞巧奠と二星の話が奈良時代以降宮中や貴族の間でもはやされ、やがて武家や庶民に浸透して全国、そしてあらゆる階層に広まったのです。歌にしる、書にしる、機織にしる、農業にしる、武芸にしる上達を願わない者はいないですし、恋物語に心ときめかさない者もないわけですから喜んで受け入れられてきているのです。古く雅な貴族社会の「七夕」の風習は、現在藤原定家に祖流の縁ある京都の上冷泉家に遺っていて、二星は旧暦の7月7日に、乞巧奠は歌道の門弟たちが8月下旬から9月上旬に掛け通りのお祭りをしています。乞巧奠では五色の布や糸と梶の木の葉(天の川を舟で渡すことに擬してか)を飾った棚の前の2つの机の上に向かって左に「琵琶」、右に「箏」を置いています。これは牽牛と織女を表していると思います。昔天皇が参加した宮中コンサート「御遊(ぎょゆう)」に做ったものでしょう。琵琶の役は天皇です。雅楽形式ですから箏演奏も男でしょうが、琵琶や箏はもちろんながら音楽の腕が上がるようにという乞巧を願う飾りです。これからは会員の皆様も七夕飾りと一緒に箏を飾っては如何でしょうか。



## 西角井正大プロフィール

1963 年文部省文化財保護委員会無形文化課文部技官

1966 年国立劇場芸能部制作室演出室主査

1995 年日本芸術文化振興会国立劇場芸能部長

1997 年日本大学芸術学研究科非常勤講師

1998 年実践女子大学文学部教授。

東日本大震災の義援金38,724円を(小学生もおこづかいから協力してくれました!)募ることができ、福島県須賀川支部を通して石巻市へお送りしました。



# ♪♪特集！第10回合奏講習会in熱海♪♪

「花は咲く」  
合奏練習。  
先生方のご指導で  
見違えるような  
演奏に！



参加者総勢 111 名！みんなで楽しく勉強しました♪

指揮教室では、  
指揮初体験の参加者の指揮  
に合わせて狛江高校の有志  
が演奏してくれました。  
将来の名指揮者が生まれる  
かも!!



## 奏でる音楽の変化を実感

7月5日から6日にかけて、伊豆温泉・ハートピア熱海にて開催された合奏講習会。各地から100名以上もの参加者が集い、講習会はもちろん、コンサートに懇親会と充実したコンテンツが実施され、多くの方にとって実りある時間となった模様です。私は初日の午前・午後に1時間半ずつ行われた全体講習で、田村拓男氏による合奏指導のアシスタントを担当しました。今回の課題曲は『復興支援ソング・花は咲く(高橋久美子氏の編曲)』。今や誰もがくちずさめるお馴染みの名曲ですが、シンプルなメロディーで演奏時間も4分以上と長く、器楽曲として「聴かせる、のは意外と難しい曲です。講習の内容としては、まず田村先生が、アンサンブルのタテ線とヨコ線をそろえる等、合奏の基本をしっかりと指導。それに加えて私は、歌詞と音のイメージとの関連や、指揮に合わせてテンポを揺らす練習、といった応用的な内容を指導しました。みなさん、とても熱心に耳を傾けて理解してくださり、奏でる音楽がどんどん変化してゆきました。こういった曲は、奏者がそれぞれのフレーズの役割を理解し、音色感をしっかりイメージした上で、ふさわしい歌い廻しが出来るようになると、より魅力的な音楽になるのです。この講習に参加された方々は、そういった点を実感できたのではないのでしょうか。今後はそれを、『花は咲く』の演奏だけにとどまらず、いろいろな曲を演奏する場面で役に立てて頂きたいと思います。



**福嶋頼秀プロフィール**  
1967年群馬県生まれ。  
オーケストラや和楽器等の  
分野を中心に多数の作曲、  
編曲活動を行う。

## 充実の2日間

「花は咲く」の講習会では、田村先生、福嶋先生のご指導を受けて、だんだん曲が変わっていきました。歌詞の意味に合わせて一音一音を大切に、皆で心をこめて合奏できたことを嬉しく有り難く思いました。参加者コンサートでは、いろいろな方の演奏を拝聴し、大変刺激を受けました。目覚めなければ!! 地元に戻って、この熱い気持ちを北九州の皆にも伝えます。  
福岡県北九州市 東島加奈



## 有意義な時

今回初めて講習会に参加させて頂きましたが、大変刺激を受けた2日間でした。田村先生・福嶋先生のご指導を賜り、合奏の難しさを改めて感じ、同時に、仲間と音楽を作り上げていく楽しさや、やりがいを強く感じました。また、各団体の方々より、演奏技術は勿論のこと、熱心さ・そして音楽を楽しむ心がひしひしと伝わり、多々学ばせて頂きました。皆様に頂いた有意義な時間を、今後の練習乃至は演奏会に活かせるよう、気持ちを新たに益々精進していこうと思います。ありがとうございました。 埼玉支部 長井梓



## 第10回合奏講習会に参加して

私達の琴音楽合奏団は石森康雄先生指導のもとで地道な練習を積み重ねています。参加者コンサートには講習曲と同名ですが編曲者が異なる「花は咲く」を弾きました。もう一曲ジャズのスタンダード曲から「ジャンバラヤ」です。プログラムの最初なのでとても緊張しました。今回は私達全員で参加することが出来たのでとても良かったです。またの演奏から学び、田村先生の楽しいリズム・指揮講座も受講出来てとても良い思い出を作れました。お世話してくださったスタッフの皆様ありがとうございました。  
辻 喜美江

来年度の合宿は平成27年7月20・21日に決定!

会場は今年の合宿でご好評いただきました

ハートピア熱海です♪

皆様のご参加をお待ちしております!

お琴・三味線だけでなく、尺八奏者の方もぜひご参加ください





# 伝統文化親子教室

伝統文化親子教室は、日本各地の伝統文化を次世代へ継承、発展させることを目的とした事業です。次代を担う子どもたちが、親とともに伝統文化を学ぶ事の出来る教室に対し、文化庁からの補助が行われています。

邦楽のみならず、民俗芸能、工芸技術、華道、茶道など各伝統文化・生活文化の2000以上の教室が、文化庁の認可を受け全国各地で開催されています。

平成26年度、NPO 邦楽指導者ネットワーク21の開催する親子教室が、全国19箇所の支部でそれぞれ採択されました。この7月より、各地の支部で親子を対象としたお箏・尺八教室が始まります。音楽を通じて子どもたちの豊かな人間性を育むため、また邦楽の伝承と発展のために、全国各地の会員による活動が行われます。

文化庁伝統文化親子教室事業 HP より



昨年、狛江支部箏曲正音会では、狛江市立狛江第六小学校において、10月から翌1月にかけて全15回の親子箏体験教室を開催しました。母娘だけでなく、外国人のお父様とお嬢さんの父娘ペアにも参加がありました。

箏の奏法の基礎や譜面の読み方、楽器の扱い方など基本的なことを学んだあとは、童謡をメドレーにした「はじめの一步（渡辺泰子編曲）」を中心に稽古を重ね、今年1月に行われた狛江エコルマホールでのコンサートに参加。親子揃って舞台上に立ちました。



◆参加者の声◆

## ザツツ↓虎の巻

この伝統文化親子教室は、従来の子どもを対象にした教室とは異なり、親子での参加を基本としています。教室を開催予定の各支部の会員にとっては、これまでとは違った取り組み方に挑戦できるチャンスです。

低学年の生徒に伝える事が難しい複雑な奏法や譜面の表記等は、親御さんから噛み砕いた言葉で伝えてもらう等すると、理解しやすくなります。お子さんへの説明を通し、親御さん自身の理解も深まります。一方、大人に比べて身体と発想が柔軟な子どもの方が、比較的早く技術を身につける傾向にあります。大人が上手く弾く事の出来ない箇所は子どもに手本として実践してもらおうと、子どもの自信にも繋がります。

ただ授業を受けてもらうだけでなく、親子二人の間で積極的に教えあえるような環境を作る事で、「親子教室」としての価値が出てくるのではないのでしょうか。

各地の活動の様子は、今後のたよりで紹介いたします。各支部で情報を交換しあい、良い教室づくりを目指して行きましょう。

お箏とは、どんなものかと始めはすごくドキドキしていました。けれど、触ってみると、思ったより簡単に音が出せてもっとドキドキしてきました。

また、お母さんと一緒に合奏したので、家でお箏の話をする事ができてうれしかったです。

その後ももっと弾きたくて、先生に習うことにしました。そのきっかけになった親子教室に参加できてよかったです。

25年度伝統文化親子箏体験教室参加者

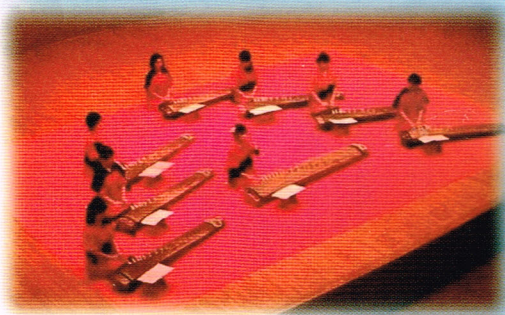
狛江市立第六小学校

3年・小林咲絢

# 支部の風

各支部をクローズアップしてご紹介！

第一回は埼玉支部・戸塚順子社中です。戸塚順子先生ご指導の下、埼玉県さいたま市周辺を中心に演奏活動を行う。中高生から20代のメンバーで構成される「箏曲福寿会おとめ座」は、若い世代にも邦楽を親しんでもらおうと、現代曲・ポップスアレンジなどの耳馴染みのある曲をセレクトするなどより魅力あるコンサートづくりを追求している。



年齢や経験に関係なく、1つの曲を自分たちの音楽にするためにそれぞれがその曲に対して抱くイメージを話し合う。また、箏の並べ方や衣装にイメージを重ね聴いても見ても楽しめる舞台づくりを迫及する。今年5月に行ったさいたま芸術劇場での「炎」(水野利彦氏作曲)公演ではエネルギッシュな演奏で好評を博した。

代表の戸塚順子さんは、「今年度は、着物の着付けショーとのコラボ演奏という初の試みのイベントも控えており、さらに新鮮なアイディアを持ちよって新しい伝統文化を発信していく活動をしていきたい。」と意欲を語っている。

埼玉支部 戸塚順子  
問い合わせ先：048-758-1694

## 賛助会員

- (学)小牧幼稚園 小林牧江
- さいたま支部 日本文化の会 戸塚順子
- スミ井邦楽器店 墨井富士男
- 下関支部 箏友会 松崎妙子
- 加古川支部 柳の会 鈴木晴柳
- 加茂支部 理音会 高橋理香
- 株式会社サトウ楽器 佐藤松夫
- (株)千代田第一工業 鈴木達雄
- 宮城楽器店 白澤功
- 熊本支部 熊本お琴教室 古川郁代
- 広島支部 いちえの会 沖田寛江
- 狛江支部 箏曲正音会 渡辺正子
- 山形屋琴三絃店 日原仁
- 小島町支部みなのか 原田真樹子
- 須賀川支部 桐音会 後藤札子
- 仙川支部 箏曲あさの会 望月亜紗子
- 千種支部 箏曲明由の会 山本明由子
- 田市相模原支部 夏音会 小笠原夏美
- 調布支部 音輪の会 駒井孝子
- 調布支部 平成尺八塾 門傳良男
- 鶴岡支部 彩音会 菅原綾子
- 八王子支部 桑都の会 小林千恵子
- 品川支部 箏曲恭音会 坂本恭子
- 富士宮支部 箏曲妙の会 佐野 妙子
- 邦友会琴音楽教室代表 石森康雄
- 北九州支部 知啓会 東島啓子
- 夢の会 田代せつ子
- 名古屋支部 彩楓会 佐藤友相
- 和泉支部 箏系会 今村慶子

## 編集後記

7月号より私たちがたよりの編集を行っております。

熱海合宿では皆様と一緒に「花は咲く」を合奏し又お楽しみ会に参加しとても素敵な時間を過ごすことができました。

これから皆様の声を全国にお届けできるようにレポートして参りますのでご意見ご感想などどしどしお寄せ下さい！どうぞよろしく願いいたします！

それでは、また次号でお会いしましょう♪

(広報/犬飼・菊地・菅沼)



### ◇お問い合わせ◇

NPO 法人  
邦楽指導者ネットワーク21  
事務局  
TEL・FAX 03-5771-8128  
info@npo-hougaku.or.jp